

札幌臨床検査技師会
データ統一化プロジェクト委員会発刊
2004 Ver. 1

精 度 管 理 マ ニ ュ ア ル

CONTENTS

-
- 1 発刊にあたって高橋道範
 - 2 マニュアルの利用法
 - 3 各 論
 - (1) 標準化のために重村雅彦
 - (2) 用語と意味
 - (3) 内部精度管理村田昌宏
 - (4) 精度管理大西あきら
 - (5) 標準化のガイドライン重村雅彦
 - (6) 精度管理 Q&A澤田和征
 - 4 札幌臨床検査試薬リスト.....木田秀幸
 - 5 巻末付録
-

平成 15 年度 統一化プロジェクト委員

委員 長	高橋 道範	NTT 東日本札幌病院	(札幌技)
事務 局	中村 茂夫	市立札幌病院	
委 員	根占 哲也	(株)セロテック研究所	
	大西 あきら	(株)セロテック研究所	
	木田 秀幸	札幌厚生病院	
	村田 昌宏	北海道健康管理センター	
	工藤 礼子	市立札幌病院	
	佐藤 佳奈	市立札幌病院	
	重村 雅彦	北海道大学病院	
	渡邊 千秋	北海道大学病院	(札幌技)
	古田 雅弘	道立教職員検診センター	(札幌技)
	澤田 和征	労働保健管理協会	(札幌技)
	田上 稔	北海道対がん協会	(札幌技)

1 発刊にあたって

当会がデータ統一化プロジェクト委員会を設置し、臨床検査データの施設間差是正、統一化、標準化に本格的に取り組む一歩を踏み出したのは平成3年のことである。その後プロジェクトメンバーの精力的な活動によって「札幌方式」と呼ばれたデータ統一化手法を始めとして着実な成果を挙げてきた。一方、診療報酬において検体検査管理加算に関する施設基準に施設内精度管理及び外部精度管理の実施が求められ、病院機能評価においても重要な評価対象となる等、精度管理の重要性は具体的なものとして増している。そして、この精度管理の充実が求められる先には、施設間差是正、臨床検査データの統一化があることは言うまでもない。医療費圧縮を目的に始まった医療制度改革の中で、どの医療機関においても臨床的に差のない検査データが得られること、それが保証されるということは重要なポイントになってくるのである。

今回発刊したこのマニュアルは、広く様々な状況にある医療機関において利用され得るものを想定して作られている。精度管理及び標準化に習熟した臨床検査技師からこれから取り組もうとする検査室まで、日常業務の傍らに置いて、気軽に、そして有効に利用することが出来るような情報をまとめたつもりである。また、この形態から分かるように、今後も必要と思われる情報を改訂、追加という形で提供していくことを目指している。

精度管理、標準化、データ統一化そして検査データの精度保証、すべてを実践するのはあなたです。

最後に、この精度管理マニュアルを作成するにあたりご協力いただきました関係各位に心から感謝の意を表しまして、発刊のご挨拶といたします。

札幌臨床検査技師会 会長
高橋 道範

2 マニュアルの利用法

臨床検査データの信頼性を保証するには、分析法の内部精度管理・外部精度評価の充実と、分析前後にかかわる全ての要因を適切に管理し、良質な検査管理業務で包含した精度管理マネジメントを日常検査において実践する必要がある。

本書は、実際の日常検査に使える精度管理の要点を、これから精度管理に従事する方にもわかりやすく理解していただけるようまとめた内容となっており、さらには執筆者のメールアドレスを掲載することで容易に情報交換ができるようにも配慮されている。また、本文中の4つのガイドマーク（マ、用語、HP、巻末）を参照することで、本文中の関連内容、あるいは精度管理関連 Web サイトにも容易にアクセスできるように工夫されている。

ガイドマークの意味：	マ	…………マニュアル参照箇所
	用語	…………本書掲載用語
	HP	…………関連ホームページ
	巻末	…………巻末付録参照箇所

以上、本書を発刊するにあたって、一同全力を傾けたつもりではあるが、利用者の皆様においてお気づきの点等ありましたら、ご教示を賜れば幸いです。会員施設の方々にとって、本書が明日の日常検査業務に実践的に役立つ精度管理マニュアルとなることを祈ってやまない。

平成 16 年 5 月
委員一同